

② 安心の条件を考える こうなれば安心

分類	意見
医療水準	距離があっても通いたいと思える魅力、安心感
技術利用	マイナ保険証で情報共有
技術利用	リモート診療
技術利用	A I ・ D X 遠隔医療
救急	夜間・休日
救急	ヘリコプター輸送いっぱい
救急	ドクターカー等のセーフティネット
救急	緊急時の的確な判断ができる体制
救急	やっぱり「総合診療医」が休日や救急を整理してくれればいいと思う
救急	ドクターヘリに代わる交通
交通	移動クリニックは便利で、これからの地域医療に必要不可欠
交通	・トイレ→大館までの公衆トイレがない
交通	通院
交通	足
交通	足がないなら、無いなりの補助（タクシー代）
交通	経済的保障
交通	タクシー券の不足、条件の緩和
交通	交通アクセスの確保
交通	通院支援
交通	大館への通院交通システムを作る
交通	・大館へ行った際の交通も
交通	大館への通院を避ける方策を
診察	とにかく患者の話を聞いてほしい→あまり患者とのコミュニケーションがとれていない
診療体制	総合医、ホームドクターとして頼れるDr、地域に
診療体制	総合診療医がいれば
診療体制	総合診療医によって診察できない科をなくす
診療体制	病気を相談できる専門医を
診療体制	「待てない医療」「様子見可能医療」「待てる医療」を24時間判断してくれるDrがいればいい
診療体制	地元の医療をよくしたい。地元で診てもらえる医師確保に努力してください
診療体制	具合が悪い時に何科に診てもらうのか自分では判断できないため総合診療医は必要
診療体制	総合診療科があればいい！
診療体制	・総合診療医の充実！
診療体制	・地元での医療を良くしたい→地元で診る医者の確保を
診療体制	総合診療医が増えればいい
診療体制	住み慣れた鹿角で一次・二次医療を受けたい
診療体制	地元で診察が受けられることが安心して暮らせることです
診療体制	・地元で診察を受けられることが安心して暮らせる仕組み。医療の持続可能性より地元における医療体制
相談窓口	顔が見える医療相談、電話
相談窓口	・小さい病気、大きい病気の見極めが難しい→相談先があればいい
相談窓口	・病気を相談する窓口の拡充！
相談窓口	・自分では判断できない！
相談窓口	一人暮らしのナースコール的なものがあれば
相談窓口	身体に不安がある時に24時間相談できる場所を！
その他	病院（間）同士の連携
その他	市民の健康意識向上
地域包括ケア	一人暮らしの人を見逃さない、地域でのつながり、支え合う関係性
薬局	薬局でも相談できたら良い

②こうなれば安心（安心を感じる条件）

行ラベル	データの個数 / 分類
医療水準	1
技術利用	3
救急	6
交通	12
診察	1
診療体制	14
相談窓口	6
地域包括ケア	1
薬局	1
その他	2

